

No.	科目番号	科目名称	年次	科目区分	分類		担当教員	実務経験講師	授業科目概要	授業時数	授業方法	
					必修	選択必修					講義	演習
1	A0010	Excel基礎	1	一般	○		西		MicrosoftExcel2019を使って表計算ソフトに関する学習を行い、表計算ソフトの各種関数やグラフ機能等を理解し、MOSEcel2019に合格できる技術力を身につける	38		○
2	A0020	簿記入門	1	一般	○		石田		簿記の基本原則および企業の日常業務における実践的な簿記の知識の習得を目的とした、初学者向けの講義を行う	37	○	
3	A2010	Word基礎	1	一般	○		西		MicrosoftWord2019を使って文書作成ソフトに関する学習を行い、Wordに備わっている各種機能を理解して効率よく文書を作成する力を身につけ、MOSWord2019に合格するためのトレーニングを行う	29		○
4	A3011	就職対策・時事問題A	1	一般	○		西・石田		就職活動を行うにあたり、IT業界やプログラマ・システムエンジニアに関する理解を深めるとともに、時事問題等に触れることで就職試験に備える。	55	○	
5	A3012	就職対策・時事問題B	1	一般	○		西・石田		就職活動を行うにあたり、IT業界やプログラマ・システムエンジニアに関する理解を深めるとともに、時事問題等に触れることで就職試験に備える。	37	○	
6	A3013	就職対策・時事問題C	2	一般	○		黒川		就職活動を行うにあたり、IT業界やプログラマ・システムエンジニアに関する理解を深めるとともに、時事問題等に触れることで就職試験に備える。	18	○	
7	A3020	PowerPoint基礎	1	一般	○		西		MicrosoftPowerPoint2019を使ってプレゼンテーションソフトに関する学習を行い、プレゼンテーションソフトのスライド制作に関する各種機能やプレゼンテーション機能等を理解し、MOSPowerPoint2019に合格できる技術力を身につける	55		○
8	A4011	数学基礎A	1	一般	○		木場		就職等で必要になる数学の基礎知識を学習し、合わせて論理的思考を養う数学の知識を習得する	37	○	

No.	科目番号	科目名称	年次	科目区分	分類		担当教員	実務経験講師	授業科目概要	授業時数	授業方法	
					必修	選択必修					講義	演習
9	A4012	数学基礎B	2	一般	○		木場		就職等で必要になる数学の基礎知識を学習し、合わせて論理的思考を養う数学の知識を習得する	18	○	
10	A5010	N検定・就職対策	2	一般	○		黒川		現代社会のできごとを多角的・公正に理解・判断し、その課題をみんなで解決していく礎となる総合的な力を育成し、就職試験にも生かす	61	○	
11	A6010	社会人常識マナー検定対策	2	一般	○		黒川		社会人として必要な知識やマナーの習得をし、仕事を円滑に進め、周囲の人々に良い印象を与えることができるようになる。	57	○	
12	A8010	卒業制作	2	一般	○		堀・西・浜崎		個々にテーマを決めて仕様書の作成および作品制作を行い、作品の紹介をプレゼンテーションの形式で実施する	72		○
13	B0010	IT概論①	1			○	西		情報処理技術者試験の午前分野に関する知識を基礎から学習し、主にハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティ、情報システムの分野に関する理解を深める。	150	○	
14	B0020	IT基礎	1			○	木場		パソコンを活用するために必要な専門用語や技術から、ITに関連する法律、また、企業活動や経営戦略などの基礎知識のうち、重点的な内容について概要を学ぶ	28	○	
15	B0030	Python入門	1			○	堀		AI開発等で世界的なシェアも高いプログラミング言語の一つであるPython。入門編として、Pythonの基礎をしっかりと学び、活用できるように、実際にコーディングを行いながら授業を進めていく。	75		○
16	B0040	Java入門	1			○	西		プログラミング言語として世界的なシェアも高いJava。入門編として、Javaの基礎をしっかりと学び、活用できるように、実際にコーディングを行いながら授業を進めていく。	75		○

No.	科目番号	科目名称	年次	科目区分	分類		担当教員	実務経験講師	授業科目概要	授業時数	授業方法	
					必修	選択必修					講義	演習
17	B0050	eスポーツ演習①	1			○	【プロ選手】・小濱		スポーツタイトルを用いて、基礎知識・戦略・攻略法等を学ぶとともに、ゲームを通じたコミュニケーション手法やマナーについて学ぶ	75		○
18	B0060	Illustrator入門	1			○	土内		AdobeIllustratorというアプリケーションを使いこなせるようになることを目指し、デザイン制作を経て基本的な知識、操作技術を身につける	14		○
19	B0070	電卓入門	1			○	石田		電卓の使用方法から、各種計算方法等の基礎を学ぶ	14		○
20	B1020	デザイン概論	1			○	佐藤・土内	○	「デザインとは何か」ということを様々な作品例の考察をしながら考える	118	○	
21	B1030	Illustrator基礎	1			○	佐藤	○	AdobeIllustratorというアプリケーションを使いこなせるようになることを目指し、デザイン制作を経て基本的な知識、操作技術を身につける	61		○
22	B1040	日商PC対策データ活用	2			○	石田		MicrosoftExcelを活用して、表やグラフの作成、業務データの処理を行い、的確なデータ分析や効率的な資料の作成等を学習し、日商PC検定試験データ活用の取得を目指す。	122		○
23	B1050	電卓基礎	1			○	石田		電卓の使用方法から、各種計算方法等の基礎を学ぶ	61		○
24	B2010	アルゴリズム	1			○	西		基本情報技術者試験の午後分野であるアルゴリズムに関する学習をおこないます。基本的なアルゴリズムの学習からはじめ、複雑なアルゴリズムにも触れることで、プログラムを作成するために必要な考え方を身につけることができます。	114	○	

No.	科目番号	科目名称	年次	科目区分	分類		担当教員	実務経験講師	授業科目概要	授業時数	授業方法	
					必修	選択必修					講義	演習
25	B2020	コミュニケーション検定対策	1			○	石田		社会人で必要となるコミュニケーションについて学習し、コミュニケーション検定初級の合格を目指す	57	○	
26	B2030	基本情報午後対策	1			○	堀		IPAが主催する国家試験のための対策授業。	57	○	
27	B2040	全経簿記対策	1			○	石田		簿記の基本原理および企業の日常業務における実践的な簿記の知識の習得を目的とした、全経簿記検定合格のための講義を行う	114	○	
28	B3010	情報セキュリティ概論	1			○	浜崎		私たちの身近には様々な情報があり、何らかの危険にさらされている。本講義では、専門外の方でも知っておいてもらいたい情報に対する脅威と対策について学習する。	55	○	
29	B3020	SQL概論	1			○	浜崎	○	基本的なSQL文を作成・実行する力を身につける	55		○
30	B3030	デザイン制作演習①	1			○	土内・佐藤		合同での制作活動を通して、制作技術の向上を図るとともに、グループでの制作におけるコミュニケーション能力を養う	110		○
31	B3040	日商PC対策文書作成	1			○	石田		簡潔でわかりやすいビジネス文書や、業務の目的に応じた適切で説得力のある資料等の作成、および取り扱い方法をMicrosoftWordを使いながら学習し、日商PC検定文書作成の取得を目指す。	110		○
32	B4011	高度試験対策①A	1			○	堀		IPAが主催する国家試験のための対策授業。	74	○	

No.	科目番号	科目名称	年次	科目区分	分類		担当教員	実務経験講師	授業科目概要	授業時数	授業方法	
					必修	選択必修					講義	演習
33	B4012	高度試験対策①B	2			○	堀		IPAが主催する国家試験のための対策授業。	36	○	
34	B4021	基本情報対策①A	1			○	浜崎		IPAが主催する国家試験のための対策授業。	74	○	
35	B4022	基本情報対策①B	2			○	浜崎		IPAが主催する国家試験のための対策授業。	36	○	
36	B4031	eスポーツ演習②A	1			○	【プロ選手】・小濱		主にスポーツタイトルを用いて、基礎知識・戦略・攻略法等を学ぶとともに、ゲームを通じたコミュニケーション手法やマナーについて学ぶ※採用タイトル「未定」	74		○
37	B4032	eスポーツ演習②B	2			○	【プロ選手】・小濱		主にスポーツタイトルを用いて、基礎知識・戦略・攻略法等を学ぶとともに、ゲームを通じたコミュニケーション手法やマナーについて学ぶ※採用タイトル「未定」	36		○
38	B4041	デザイン制作演習②A	1			○	佐藤		合同での制作活動を通して、制作技術の向上を図るとともに、グループでの制作におけるコミュニケーション能力を養う	74		○
39	B4042	デザイン制作演習②B	2			○	佐藤		合同での制作活動を通して、制作技術の向上を図るとともに、グループでの制作におけるコミュニケーション能力を養う	36		○
40	B4051	ビジネス文書A	1			○	石田		ビジネスシーンで必要となる文書作成における表記・表現・実務技能を学習する	74	○	

No.	科目番号	科目名称	年次	科目区分	分類		担当教員	実務経験講師	授業科目概要	授業時数	授業方法	
					必修	選択必修					講義	演習
41	B4052	ビジネス文書B	2			○	石田		ビジネスシーンで必要となる文書作成における表記・表現・実務技能を学習する	36	○	
42	B5010	AI基礎	2			○	浜崎		人工知能(AI)の活用を目的化せず、ツールとして使いこなせる力を養うため、活用する上で踏まえておきたい要素について学ぶ	61	○	
43	B5020	eスポーツ演習③	2			○	西本		主にスポーツタイトルを用いて、プロ選手から学んだ戦略・攻略法等をもとにスキルアップのための実践練習を行う。※採用タイトル「eFootball2022」	61		○
44	B5030	デザイン制作	2			○	土内・佐藤		デザイン課題の制作し、プレゼンテーションを行い評価しあう	61		○
45	B5040	日商PC対策プレゼン	2			○	西本		与えられた情報を整理・分析し、図解技術やレイアウト技術、カラー表現技術等を用いて、適切でわかりやすいプレゼンテーション資料の作成、および取り扱い方法をMicrosoftPowerPointを使いながら学習し、日商PC検定プレゼン資料作成の取得を目指す。	61		○
46	B5050	IoT概論	2			○	堀		IoTに関わる技術等を学び、構成要素の理解とIoTを活用したシステムの理解を深め、IoT検定の合格を目指す	122	○	
47	B5060	動画編集基礎	2			○	土内	○	AdobePremiereProを用いた動画編集の基本、アニメーションやエフェクトの使い方、クオリティをアップするためのさまざまなテクニックなどを学ぶ	122		○
48	B5070	Web制作演習	2			○	浜崎	○	HTMLおよびCSSを基礎から学習し、ツールに頼らずにホームページを作成することができる技術を習得する。	122		○

No.	科目番号	科目名称	年次	科目区分	分類		担当教員	実務経験講師	授業科目概要	授業時数	授業方法	
					必修	選択必修					講義	演習
49	B6010	システム設計	2			○	浜崎	○	システム開発における要件定義からテストの流れ、および各種開発技法を体系的に学習し、実際に要件定義について疑似体験する。	57	○	
50	B6020	動画編集実践	2			○	土内	○	AdobePremiereProを用いた動画編集の応用として、動画のクオリティをアップするためのさまざまな上級テクニックなど学び、実践する	114		○
51	B6030	Access実習	2			○	西本		MicrosoftAccess2019を使ってデータベースに関する学習を行い、データベースの概念を理解するとともに、MOSAccess2019に合格できる技術力を身につける	114		○
52	B6040	高度試験対策③	2			○	堀		IPAが主催する国家試験のための対策授業。主に午後試験の必修選択分野を中心に実施する。	57	○	
53	B6050	基本情報対策③	2			○	浜崎		IPAが主催する国家試験のための対策授業。主に午後試験の必修選択分野を中心に実施する。	57	○	
54	B6060	応用数学	2			○	木場		AIやデータ分析等で利用される数学分野についての理解を深める。	57	○	
55	B6070	JavaScript基礎	2			○	浜崎		動的なWebサイト制作でよく利用されるJavaScriptの基本から応用まで、実際にWebサイト制作を交えながら学習を行う。	112	○	
56	B6080	RPA入門	2			○	石田		業務効率化のためのRPAについて学び、PowerAutomateDesktopを用いて事務作業の効率化手順を学ぶ	57	○	

No.	科目番号	科目名称	年次	科目区分	分類		担当教員	実務経験講師	授業科目概要	授業時数	授業方法	
					必修	選択必修					講義	演習
57	B6060	応用数学	2			○	木場		データに基づいて客観的に判断し、科学的に問題を解決する能力を学ぶ	55	○	
58	B7020	マーケティング基礎	2			○	堀		Webを中心としたネットワークを活用して、売上の拡大、各種ブランディング、顧客満足度向上、業務の効率化など、自社と市場との関係を構築するインターネット・マーケティングを学ぶ	55	○	
59	B7030	OJT・開発演習	2			○	西・堀・受入企業	○	実際に行われた小規模の開発案件を模倣し、実際にチームを組んで設計から開発までのプロセスを学ぶ。一部メンバーについては、OJT受入企業内でのサンプルプロジェクトに取り組む。	165		○
60	B7040	eスポーツ演習④	2			○	小濱・西本		実際のeスポーツ大会を企画し、広報・準備・大会運営・評価といった一連の流れを実践する。期間中、2回の大会を運営し、1回目は小規模大会、2回目は中規模大会を実施する。	165		○
61	B7050	デザイン制作演習③	2			○	土内・佐藤	○	作品制作後にプレゼンテーションを行うことを前提とし、プレゼン用資料の作成や発表における言動等も評価対象とする	165		○
							必須科目合計		1700単位時間 実務経験講師時間:236～344単位時間			

※「実務経験のある教員等による授業科目」は選択必修科目より2科目以上(授業時数の合計170時間以上)の履修が必要

科目名	A0010	E x c e l 基礎		担当教員	西
履修年次	1 年次	総授業時間	38	授業形態	演習
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	Microsoft Excel2019を使って表計算ソフトに関する学習を行い、表計算ソフトの各種関数やグラフ機能等を理解し、MOS Excel2019に合格できる技術力を身につける				
達成目標	MOS Excel2019 に合格する				
授業計画	<p>1) ワークシートやブックの作成と管理 (5)</p> <p>ワークシートやブックを作成する ワークシートやブック内を移動する ワークシートやブックの作成と管理書式を設定 ワークシートやブックのカスタマイズ 配布するためのワークシートやブック設定</p> <p>2) セルやセル範囲のデータの管理 (5)</p> <p>セルやセル範囲にデータを挿入する セルやセル範囲の書式を設定する データをまとめる、整理する</p> <p>3) テーブルの作成 (5)</p> <p>テーブルを作成する、管理する テーブルのスタイルと設定オプションの管理 テーブルのレコードを抽出、並べ替える</p> <p>4) 数式や関数を使用した演算の実行 (8)</p> <p>関数を使用してデータを集計する 関数を使用して条件付きの計算を実行する 関数を使用して書式を設定する、文字列を変更する</p> <p>5) グラフやオブジェクトの作成 (5)</p> <p>グラフを作成する グラフを書式設定する オブジェクトを挿入する、書式設定する</p> <p>6) 模擬試験 (10)</p>				
授業方法・特徴	パソコンを使った実習を行い、MOS Excel2019への合格を目指す				
成績評価基準	<p>A (秀) : 80 点以上、100 点以下 D (可) : 21 点以上、40 点未満</p> <p>B (優) : 60 点以上、80 点未満 F (不可) : 20 点以下</p> <p>C (良) : 40 点以上、60 点未満 ※5 段階評価</p>				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	Microsoft Office Specialist Excel 対策テキスト&問題集				

科目名	A0020	簿記入門	担当教員	石田	
履修年次	1年次	総授業時間	37	授業形態	講義
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	簿記の基本原則および企業の日常業務における実践的な簿記の知識の習得を目的とした、初学者向けの講義を行う				
達成目標	日商簿記検定初級レベルの基礎知識を習得する				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> 1) 簿記の基礎 (3) 2) 商品売買 (3) 3) 現金・預金 (3) 4) 手形と電子記録債権 (債務) (3) 5) 貸付金・借入金 (3) 6) その他の取引 (3) 7) 固定資産 (3) 8) 租税公課と消費税・資本金 (3) 9) 帳簿への記入 (3) 10) 試算表 (3) 11) 伝票と仕訳日計表 (3) 12) 総合演習 (4) 				
授業方法・特徴	テキストと問題集を併用し、座学による学習を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	スッキリわかる 日商簿記初級				

科目名	A2010	Word基礎	担当教員	西	
履修年次	1年次	総授業時間	29	授業形態	演習
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	Microsoft Word2019を使って文書作成ソフトに関する学習を行い、Wordに備わっている各種機能を理解して効率よく文書を作成する力を身につけ、MOS Word2019に合格するためのトレーニングを行う				
達成目標	MOS Word2019に合格する				
授業計画	<p>1) 文書の作成と管理 (4)</p> <p>文書を作成する</p> <p>文書内を移動する</p> <p>文書の書式を設定する</p> <p>文書のオプションと表示をカスタマイズする</p> <p>文書を印刷する、保存する</p> <p>2) 文字、段落、セクションの書式設定 (4)</p> <p>文字列や段落を挿入する</p> <p>文字列や段落の書式を設定する</p> <p>文字列や段落を並べ替える、グループ化する</p> <p>3) 表やリストの作成 (5)</p> <p>表を作成する</p> <p>表を変更する</p> <p>リストを作成する</p> <p>4) 参考資料の作成と管理 (4)</p> <p>参照のための情報や記号を作成する、管理する</p> <p>標準の参考資料を作成する、管理する</p> <p>5) グラフィック要素の挿入と書式設定 (4)</p> <p>グラフィック要素を挿入する</p> <p>グラフィック要素を書式設定する</p> <p>SmartArtを挿入する書式設定する</p> <p>6) 模擬試験 (8)</p>				
授業方法・特徴	パソコンを使った実習を行い、MOS Word2019への合格を目指す				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	Microsoft Office Specialist Word 対策テキスト&問題集				

科目名	A3011	就職対策・時事問題A	担当教員	西・石田	
履修年次	1年次	総授業時間	55	授業形態	講義
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	就職活動を行うにあたり、IT業界やプログラマ・システムエンジニアに関する理解を深めるとともに、時事問題等に触れることで就職試験に備える。				
達成目標	目指すべき業種・職種を明確にする 就職試験対策として時事問題を把握するためニュースを見る癖をつける				
授業計画	<p>1) 職種研究 (10) 企業説明会 (職業説明会) インターネットでの情報検索</p> <p>2) 自己分析 (10) 自己分析シートの利用 担任との面談</p> <p>3) 社会常識 (10) 新聞記事によるスピーチ 一般常識演習</p> <p>4) 作文指導 (5)</p> <p>5) 面接指導 (10) 模擬面接</p> <p>6) 応募書類の作成 (10) 履歴書・送付状の作成</p>				
授業方法・特徴	座学やロールプレイングにより学習を進める				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	授業開始時に適宜選定する				

科目名	A3012	就職対策・時事問題B	担当教員	西・石田	
履修年次	1年次	総授業時間	37	授業形態	講義
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	就職活動を行うにあたり、IT業界やプログラマ・システムエンジニアに関する理解を深めるとともに、時事問題等に触れることで就職試験に備える。				
達成目標	目指すべき業種・職種を明確にする 就職試験対策として時事問題を把握するためニュースを見る癖をつける				
授業計画	<p>1) 企業説明会等 (12)</p> <p>2) 面接指導 (15) 模擬面接</p> <p>3) 応募書類の作成 (10) 履歴書・送付状の作成</p>				
授業方法・特徴	座学やロールプレイングにより学習を進める				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	授業開始時に適宜選定する				

科目名	A3013	就職対策・時事問題C	担当教員	黒川	
履修年次	2年次	総授業時間	18	授業形態	講義
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	就職活動を行うにあたり、IT業界やプログラマ・システムエンジニアに関する理解を深めるとともに、時事問題等に触れることで就職試験に備える。				
達成目標	目指すべき業種・職種を明確にする 就職試験対策として時事問題を把握するためニュースを見る癖をつける				
授業計画	<p>1) 面接指導 (10) 模擬面接</p> <p>2) 応募書類の作成 (8) 履歴書・送付状の作成</p>				
授業方法・特徴	座学やロールプレイングにより学習を進める				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	授業開始時に適宜選定する				

科目名	A3020	PowerPoint基礎	担当教員	西	
履修年次	1年次	総授業時間	55	授業形態	演習
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	Microsoft PowerPoint2019を使ってプレゼンテーションソフトに関する学習を行い、プレゼンテーションソフトのスライド制作に関する各種機能やプレゼンテーション機能等を理解し、MOS PowerPoint2019に合格できる技術力を身につける				
達成目標	MOS PowerPoint2019 に合格する				
授業計画	<p>1) PowerPointの基礎知識 (3)</p> <p>2) 基本的なプレゼンテーションの作成 (4)</p> <p>3) 表の作成 (4)</p> <p>4) グラフの作成 (4)</p> <p>5) 図形やSmartArtグラフィックの作成 (6)</p> <p>6) 画像やワードアートの挿入 (6)</p> <p>7) 特殊効果の設定 (6)</p> <p>8) プレゼンテーションをサポートする機能 (6)</p> <p>9) 模擬試験 (16)</p>				
授業方法・特徴	パソコンを使った実習を行い、MOS PowerPoint2019への合格を目指す				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 D (可) : 21点以上、40点未満 B (優) : 60点以上、80点未満 F (不可) : 20点以下 C (良) : 40点以上、60点未満 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	Microsoft Office Specialist PowerPoint 対策テキスト&問題集				

科目名	A4011	数学基礎 A	担当教員	木場	
履修年次	1 年次	総授業時間	37	授業形態	講義
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	就職等で必要になる数学の基礎知識を学習し、合わせて論理的思考を養う数学の知識を習得する				
達成目標	数学的思考方を基にして、論理的思考力を身につける				
授業計画	<p>1) スキャン回路 (7)</p> <p>2) クリエイト回路 (7)</p> <p>3) リバース回路 (7)</p> <p>4) ノック回路 (8)</p> <p>5) ステップ回路 (8)</p> <p>6) 総合問題 (「A4012: 数学基礎 B」にて実施)</p>				
授業方法・特徴	教科書を用いて一通りの考え方を学習し、オリジナル問題にて再確認を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80 点以上、100 点以下 B (優) : 60 点以上、80 点未満 C (良) : 40 点以上、60 点未満 D (可) : 21 点以上、40 点未満 F (不可) : 20 点以下 ※ 5 段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	5 分で論理的思考力ドリル				

科目名	A4012	数学基礎B	担当教員	木場	
履修年次	2年次	総授業時間	18	授業形態	講義
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考	1年次「A4011：数学基礎A」の継続				
授業概要	就職等で必要になる数学の基礎知識を学習し、合わせて論理的思考を養う数学の知識を習得する				
達成目標	数学的思考方を基にして、論理的思考力を身につける				
授業計画	1) 総合問題 (18)				
授業方法・特徴	教科書を用いて一通りの考え方を学習し、オリジナル問題にて再確認を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	5分で論理的思考力ドリル				

科目名	A5010	N検定・就職対策		担当教員	黒川
履修年次	2年次	総授業時間	61	授業形態	講義
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	現代社会のできごとを多角的・公正に理解・判断し、その課題をみんなで解決していく礎となる総合的な力を育成し、就職試験にも生かす				
達成目標	時事力を身につけ、ニュース時事能力検定試験に合格する				
授業計画	1. 基礎編 (20) 2. 練習問題 (30) 3. 就職活動フォロー (11)				
授業方法・特徴	検定テキストをベースに座学による学習を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	2022年度版ニュース検定公式テキスト&問題集				

科目名	A6010	社会人常識マナー検定対策	担当教員	黒川	
履修年次	2年次	総授業時間	57	授業形態	講義
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	社会人として必要な知識やマナーの習得をし、仕事を円滑に進め、周囲の人々に良い印象を与えることができるようになる。				
達成目標	社会人として必要な知識やマナーの習得をし、公益社団法人 全国経理教育協会主催の社会人常識マナー検定3級の合格を目指す。				
授業計画	1. 社会と組織 (3) 2. 仕事と成果 (3) 3. 一般知識 (3) 4. ビジネス計算 (3) 5. ビジネスコミュニケーション (3) 6. 社会人にふさわしい言葉遣い (3) 7. ビジネス文書の活用 (3) 8. 職場のマナー (3) 9. 来客対応 (3) 10. 電話対応 (3) 11. 交際業務 (3) 12. 文書類の受け取りと発送・他 (3) 13. 会議 (3) 14. ファイリング・他 (3) 15. 問題演習 (15)				
授業方法・特徴	講義後ワークブックを使用し、授業内容の確認をおこなう。 また、過去問題集の教材を使用し学習内容の定着をはかる。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 (全国経理教育協会) 社会人常識マナー検定ワークブック3級 (全国経理教育協会) 社会人常識マナー検定試験過去問題集3級 (全国経理教育協会)				

科目名	A8010	卒業制作	担当教員	堀・西・浜崎	
履修年次	2年次	総授業時間	72	授業形態	演習
必修区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	個々にテーマを決めて仕様書の作成および作品制作を行い、作品の紹介をプレゼンテーションの形式で実施する				
達成目標	在学中に学習した技術や知識を活用したシステム開発を行う				
授業計画	1) テーマ決め (4) 2) 仕様書の作成 (8) 3) 仕様書に沿ったシステム開発 (34) 4) テスト (10) 5) プレゼンテーションの準備 (8) 6) プレゼンテーション (8)				
授業方法・特徴	学生個々による仕様書作成およびプログラム制作実習				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	なし				

科目名	B0010	IT概論①	担当教員	西	
履修年次	1年次	総授業時間	150	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	情報処理技術者試験の午前分野に関する知識を基礎から学習し、主にハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティ、情報システムの分野に関する理解を深める。				
達成目標	基本情報技術者試験午前免除試験において50%以上正答することができるようになる				
授業計画	<p>1) ハードウェア (12)</p> <p>コンピュータの基本構成 コンピュータのデータ表現 中央処理装置と主記憶装置 補助記憶装置 入出力装置</p> <p>2) 情報処理システム (12)</p> <p>情報処理システムの処理形態 高信頼化システムの構成 情報処理システムの評価 ヒューマンインタフェース マルチメディア</p> <p>3) ソフトウェア (12)</p> <p>ソフトウェアの分類 オペレーティングシステム プログラム言語 ファイル</p> <p>4) データベース (15)</p> <p>データベースの概要 SQL いろいろなデータベース</p> <p>5) ネットワーク (15)</p> <p>インターネット ネットワークアーキテクチャ LAN ネットワークの仕組み ネットワーク管理</p> <p>6) セキュリティ (15)</p> <p>情報セキュリティの概要 情報セキュリティ対策</p> <p>7) データ構造とアルゴリズム (15)</p> <p>データ構造 基本アルゴリズム</p> <p>8) 午前免除試験対策 (54)</p> <p>過去問題演習</p>				
授業方法・特徴	教科書を使った講義と過去問題を使った演習を行う				
成績評価基準	<p>A (秀) : 80点以上、100点以下</p> <p>B (優) : 60点以上、80点未満</p> <p>C (良) : 40点以上、60点未満</p> <p>D (可) : 21点以上、40点未満</p> <p>F (不可) : 20点以下</p> <p>※5段階評価</p>				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	<p>コンピュータ概論</p> <p>システム開発技術</p>				

科目名	B0020	IT基礎	担当教員	木場	
履修年次	1年次	総授業時間	28	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	パソコンを活用するために必要な専門用語や技術から、ITに関連する法律、また、企業活動や経営戦略などの基礎知識のうち、重点的な内容について概要を学ぶ				
達成目標	IT分野の関連知識の基礎を習得				
授業計画	1) ハードウェア (3) 2) ソフトウェアとマルチメディア (3) 3) システム構成 (3) 4) ネットワーク (3) 5) セキュリティ (3) 6) データベース (3) 7) アルゴリズムとプログラミング (3) 8) マネジメント (3) 9) 企業活動と法務 (2) 10) 経営戦略とシステム戦略 (2)				
授業方法・特徴	テキストを中心とした座学授業とする				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	栢木先生のITパスポート教室				

科目名	B0030	Python入門	担当教員	堀	
履修年次	1年次	総授業時間	75	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	AI開発等で世界的なシェアも高いプログラミング言語の一つであるPython。入門編として、Pythonの基礎をしっかりと学び、活用できるように、実際にコーディングを行いながら授業を進めていく。				
達成目標	Pythonの基礎構文が理解でき、基本情報技術者試験で出題されるレベル相当のアルゴリズムをプログラムで表現できる				
授業計画	1. イントロダクション (2) 2. Pythonの基本 (5) 3. 演算子 (10) 4. 制御構文 (15) 5. ユーザー定義関数 (15) 6. 演習課題 (28)				
授業方法・特徴	PCを利用した、統合開発環境 (Microsoft Code) によるプログラミング実習形式とする。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	独習Python				

科目名	B0040	J a v a 入門	担当教員	西	
履修年次	1 年次	総授業時間	75	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	プログラミング言語として世界的なシェアも高いJava。 入門編として、Javaの基礎をしっかりと学び、活用できるように、実際にコーディングを行いながら授業を進めていく。				
達成目標	Javaの基礎構文が理解でき、基本情報技術者試験で出題されるレベル相当のアルゴリズムをプログラムで表現できる				
授業計画	1. 基本的なプログラム (10) 2. 演算子 (10) 3. 制御文 (15) 4. クラスの基礎 (15) 5. 演習課題 (25)				
授業方法・特徴	テキストエディタを使ってプログラミングを行い、Windows PowerShell上で動作確認を行う。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	Javaの絵本 Javaが好きになる新しい9つの扉				

科目名	B0050	eスポーツ演習①	担当教員	【プロ選手】・小濱	
履修年次	1年次	総授業時間	75	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	スポーツタイトルを用いて、基礎知識・戦略・攻略法等を学ぶとともに、ゲームを通じたコミュニケーション手法やマナーについて学ぶ				
達成目標	eスポーツ大会への参加と実績を作るとともに、大会参加を通して一般的なマナーや運営・他参加者とのコミュニケーションスキルを身につける				
授業計画	1) 基礎知識 (5) 2) 戦略学習 (10) 3) 攻略考察 (10) 4) 実践練習 (40) 5) イベント参加時のマナー (5) 6) 運営・プレイヤーとのコミュニケーション (5)				
授業方法・特徴	eスポーツプロ選手によるオンライン講義及び実践授業と共に、座学による学習を併用				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					

科目名	B0060	Illustrator入門	担当教員	土内	
履修年次	1年次	総授業時間	14	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	Adobe Illustratorというアプリケーションを使いこなせるようになることを目指し、デザイン制作を経て基本的な知識、操作技術を身につける				
達成目標	Adobe Illustratorの基礎を身につけ、基本的な操作ができるようになること				
授業計画	1. Illustratorの基礎知識 (4) 2. はじめてのIllustrator (4) 3. 基本図形の描き方と変形操作 (6)				
授業方法・特徴	Adobe Illustratorを使用して操作の基本を学ぶ				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	Illustratorしっかり入門				

科目名	B0070	電卓入門	担当教員	石田	
履修年次	1年次	総授業時間	14	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	電卓の使用方法から、各種計算方法等の基礎を学ぶ				
達成目標	電卓の指使いと使い方を習得する				
授業計画	1) 電卓の基本 (4) 2) 電卓の基本的な使い方 (4) 3) 試験問題の解き方 (6)				
授業方法・特徴	テキストと問題集を併用し、座学による学習を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	全経電卓計算能力検定試験公式テキスト				

科目名	B1020	デザイン概論	担当教員	佐藤・土内	
履修年次	1年次	総授業時間	118	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目		○	
備考					
授業概要	「デザインとは何か」ということを様々な作品例の考察をしながら考える				
達成目標	デザイン設計の基本を理解すること				
授業計画	1-4. デザインの誕生（アーツアンドクラフツ運動以前と以降をデザイン史、西洋美術史をもとに） 5-10. デザインの目的（ルイス・サリヴァン、ムナーリの言葉とバウハウスの教育理念をもとに） 11-15. デザイン設計における近接の法則 16-20. デザイン設計における整列の法則 21-25. デザイン設計における反復の法則 26-30. デザイン設計における対比の法則 31-35. グループに分かれての作品例の考察とディスカッション① 36-45. ディスカッション後の答え合わせと解説① 46-54. すでにあるデザインを再構成（実技）① 55. 作品の講評① 56-60. グループに分かれての作品例の考察とディスカッション② 61-70. ディスカッション後の答え合わせと解説② 71-79. すでにあるデザインを再構成（実技）② 80. 作品の講評② 81-85. グループに分かれての作品例の考察とディスカッション③ 86-95. ディスカッション後の答え合わせと解説③ 96-104. すでにあるデザインを再構成（実技）③ 105. 作品の講評③ 106-118. 色彩に関する知識（色彩検定について）				
授業方法・特徴	多様な側面を併せ持つ「デザイン」に対する広い視野を獲得することを目的とし、デザインに求められる理念、知識、技術の概要を学習する				
成績評価基準	A（秀）：80点以上、100点以下 B（優）：60点以上、80点未満 C（良）：40点以上、60点未満 D（可）：21点以上、40点未満 F（不可）：20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目（チェック項目）を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	デザイン入門教室 知りたいレイアウトデザイン 知りたいタイポグラフィデザイン				

科目名	B0060	Illustrator基礎	担当教員	佐藤	
履修年次	1年次	総授業時間	61	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目		○	
備考					
授業概要	Adobe Illustratorというアプリケーションを使いこなせるようになることを目指し、デザイン制作を経て基本的な知識、操作技術を身につける				
達成目標	Adobe Illustratorの基礎を身につけ、基本的な操作ができるようになること				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. パスの描画と編集 (5) 2. オブジェクトの編集とレイヤーの基本 (5) 3. 色とグラデーションの設定 (5) 4. 変形・合成・特殊効果 (5) 5. 画像の配置と編集 (5) 6. 文字操作と段落設定 (5) 7. 総合演習 (31) 				
授業方法・特徴	Adobe Illustratorを使用して簡単な作品制作をするための学習を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	Illustratorしっかり入門				

科目名	B1040	日商PC対策データ活用	担当教員	石田	
履修年次	2年次	総授業時間	122	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	Microsoft Excel を活用して、表やグラフの作成、業務データの処理を行い、的確なデータ分析や効率的な資料の作成等を学習し、日商PC検定試験 データ活用の取得を目指す。				
達成目標	日商PC検定試験 データ活用の取得。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 取引の仕組み (6) 2. 業務に応じた計算・集計処理 (8) 3. 業務データの管理 (8) 4. 表の作成 (8) 5. データの集計 (10) 6. グラフの作成 (10) 7. 知識問題復習 (8) 8. 模擬試験① (10) 9. 知識問題復習 (8) 10. 模擬試験② (10) 11. 知識問題復習 (8) 12. 模擬試験③ (10) 13. 知識問題復習 (8) 14. 模擬試験④ (10) 				
授業方法・特徴	前半はデータの計算方法・流れに関する学習し、後半ではその知識を用いてExcelで演習する。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	よくわかるマスター 日商PC検定試験 知識科目公式問題集 (FOM出版)				

科目名	B1050	電卓基礎	担当教員	石田	
履修年次	1年次	総授業時間	61	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	電卓の使用方法から、各種計算方法等の基礎を学ぶ				
達成目標	一般的な計算を行えるようになる 全経電卓計算能力検定試験に合格する				
授業計画	<p>1) 演習問題 (61)</p> <p>乗算</p> <p>除算</p> <p>見取算</p> <p>複合算</p> <p>伝票算</p>				
授業方法・特徴	テキストと問題集を併用し、座学による学習を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 D (可) : 21点以上、40点未満 B (優) : 60点以上、80点未満 F (不可) : 20点以下 C (良) : 40点以上、60点未満 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	全経電卓計算能力検定試験公式テキスト				

科目名	B2010	アルゴリズム	担当教員	西								
履修年次	1年次	総授業時間	114	授業形態	講義							
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目										
備考												
授業概要	基本情報技術者試験の午後分野であるアルゴリズムに関する学習をおこないます。基本的なアルゴリズムの学習からはじめ、複雑なアルゴリズムにも触れることで、プログラムを作成するために必要な考え方を身につけることができます。											
達成目標	アルゴリズムの性質を理解し、整列や文字列操作等のプログラムフローを作成できるようになる。基本情報技術者試験のアルゴリズム分野で60%以上の正答率を出すことができるようになる。											
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1) 配列操作 (16) 1次元配列の基本操作 順位付け処理 2次元配列の基本操作 配列を利用した図形処理 </td> <td style="vertical-align: top;"> 5) 数学的アルゴリズム (20) 数値と文字の変換 実数計算 BNF記法 逆ポーランド記法 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 2) 基本アルゴリズム (20) 線形探索法 二分探索法 基本選択法 クイックソート </td> <td style="vertical-align: top;"> 6) その他のアルゴリズム (20) ファイル処理 法則性の発見 バックトラック法 ゲームの作成 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 3) 文字列操作 (18) 文字列の比較 文字列の圧縮/復元 ポイヤ・ムーア法 </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 4) 問題解決向きデータ構造 (20) スタック 2分探索木 ヒープ ハッシュ法 </td> <td></td> </tr> </table>				1) 配列操作 (16) 1次元配列の基本操作 順位付け処理 2次元配列の基本操作 配列を利用した図形処理	5) 数学的アルゴリズム (20) 数値と文字の変換 実数計算 BNF記法 逆ポーランド記法	2) 基本アルゴリズム (20) 線形探索法 二分探索法 基本選択法 クイックソート	6) その他のアルゴリズム (20) ファイル処理 法則性の発見 バックトラック法 ゲームの作成	3) 文字列操作 (18) 文字列の比較 文字列の圧縮/復元 ポイヤ・ムーア法		4) 問題解決向きデータ構造 (20) スタック 2分探索木 ヒープ ハッシュ法	
1) 配列操作 (16) 1次元配列の基本操作 順位付け処理 2次元配列の基本操作 配列を利用した図形処理	5) 数学的アルゴリズム (20) 数値と文字の変換 実数計算 BNF記法 逆ポーランド記法											
2) 基本アルゴリズム (20) 線形探索法 二分探索法 基本選択法 クイックソート	6) その他のアルゴリズム (20) ファイル処理 法則性の発見 バックトラック法 ゲームの作成											
3) 文字列操作 (18) 文字列の比較 文字列の圧縮/復元 ポイヤ・ムーア法												
4) 問題解決向きデータ構造 (20) スタック 2分探索木 ヒープ ハッシュ法												
授業方法・特徴	教科書(問題集)を終わらせた後、基本情報技術者試験の過去問題を解きながらアルゴリズムを身につけます。											
成績評価基準	<table border="0"> <tr> <td>A (秀) : 80点以上、100点以下</td> <td>D (可) : 21点以上、40点未満</td> </tr> <tr> <td>B (優) : 60点以上、80点未満</td> <td>F (不可) : 20点以下</td> </tr> <tr> <td>C (良) : 40点以上、60点未満</td> <td>※5段階評価</td> </tr> </table>				A (秀) : 80点以上、100点以下	D (可) : 21点以上、40点未満	B (優) : 60点以上、80点未満	F (不可) : 20点以下	C (良) : 40点以上、60点未満	※5段階評価		
A (秀) : 80点以上、100点以下	D (可) : 21点以上、40点未満											
B (優) : 60点以上、80点未満	F (不可) : 20点以下											
C (良) : 40点以上、60点未満	※5段階評価											
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。											
教科書・参考書	基本情報STEP UP演習 アルゴリズム対策											

科目名	B2020	コミュニケーション検定対策	担当教員	石田	
履修年次	1年次	総授業時間	57	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	社会人で必要となるコミュニケーションについて学習し、コミュニケーション検定初級の合格を目指す				
達成目標	コミュニケーション検定初級合格				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションしてみよう (5) グループでコミュニケーションしてみよう コミュニケーションの基本を知ろう 2. コミュニケーションの基本を身につけよう (5) コミュニケーションと話し上手 あいさつ 3. きれいな発声・発音を身につけよう (5) 自分の話し方を見直そう きれいな発声・発音を身につけよう 4. 正しい日本語を身につけよう (5) 現在の日本語を考える 正しい言葉遣い 5. 話すときの心構えを理解しよう (5) プレゼンテーションをしてみよう 聞き手を意識した心構え 話す内容の作り方 6. 効果的な話し方を身につけよう (5) 効果的に話す 効果的な話の構成 7. 効果的な表現力を身につけよう (5) 態度面が話の効果を決める 目線・アイコンタクト 表現力を高めるジェスチャー 8. 聞くことの重要性 (5) 「きくこと」とは 聴く態度を身につけよう 聴き上手になる話の聴き方 話を促進する聴く技術 9. 各種コミュニケーション場面とポイント (5) 10. 検定問題対策 (12) 				
授業方法・特徴	教科書を使った講義と問題集を使った演習を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	コミュニケーション技法 コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集				

科目名	B2030	基本情報午後対策	担当教員	堀	
履修年次	1年次	総授業時間	57	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	IPAが主催する国家試験のための対策授業。				
達成目標	基本情報技術者試験午後問題に合格できるレベルの知識を習得する。				
授業計画	1. 情報セキュリティ (10) 2. ハードウェア (5) 3. ソフトウェア (5) 4. データベース (5) 5. ネットワーク (5) 6. ソフトウェア設計 (5) 7. プロジェクトマネジメント (3) 8. システム戦略 (3) 9. 模擬試験・解説 (16)				
授業方法・特徴	講義形式による座学授業とする。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	各種模擬試験問題				

科目名	B2040	全経簿記対策	担当教員	石田	
履修年次	1年次	総授業時間	114	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	簿記の基本原則および企業の日常業務における実践的な簿記の知識の習得を目的とした、全経簿記検定合格のための講義を行う				
達成目標	全経簿記検定3級レベルの知識を習得する				
授業計画	1) 身のまわりの簿記 (4) 2) 仕訳と転記 (6) 3) 決算の手続き① (8) 4) 現金①と当座預金 (6) 5) 商品売買 (6) 6) その他の費用と収益 (6) 7) 手形 (6) 8) その他の債権債務 (6) 9) 現金② (6) 10) 税金・引出金 (6) 11) 有価証券と有形固定資産 (6) 12) 株式の発行 (6) 13) 決算の手続き② (8) 14) 清算表・財務諸表 (12) 15) 伝票会計・試算表 (12) 16) 総合演習 (10)				
授業方法・特徴	テキストと問題集を併用し、座学による学習を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	全経簿記能力検定試験公式テキスト3級 全経簿記能力検定試験公式問題集3級				

科目名	B3010	情報セキュリティ概論	担当教員	浜崎						
履修年次	1年次	総授業時間	55	授業形態	講義					
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目								
備考										
授業概要	私たちの身近には様々な情報があり、何らかの危険にさらされている。本講義では、専門外の方でも知っておいてもらいたい情報に対する脅威と対策について学習する。									
達成目標	情報セキュリティの基礎～中級程度を管理と技術の両面から脅威と対策に分けて学習し、情報セキュリティ管理士認定試験の取得を目指す。									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報セキュリティの概要（情報セキュリティ総論）（2） 2. 情報セキュリティ対策の概要（2） 3. 紙媒体の脅威と対策（情報資産に対する脅威と対策①）（3） 4. 入退室の脅威と対策（3） 5. 災害・障害の脅威と対策（3） 6. コンピュータ利用上の脅威と対策（情報資産に対する脅威と対策②）（3） 7. ネットワークの脅威と対策（4） 8. 電子媒体の脅威と対策（4） 9. ソフトウェアに関する知識（コンピュータの一般知識）（4） 10. ハードウェアに関する知識（4） 11. OSとアプリケーションに関する知識（4） 12. ネットワークに関する知識（4） 13. 総合演習問題（5） 14. 過去問①（5） 15. 過去問②（5） 									
授業方法・特徴	<p>講義と復習で小テストを行う。</p> <p>講義の後半は情報セキュリティ管理士認定試験取得のための演習を行う。</p>									
成績評価基準	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">A（秀）：80点以上、100点以下</td> <td style="width: 50%;">D（可）：21点以上、40点未満</td> </tr> <tr> <td>B（優）：60点以上、80点未満</td> <td>F（不可）：20点以下</td> </tr> <tr> <td>C（良）：40点以上、60点未満</td> <td>※5段階評価</td> </tr> </table>				A（秀）：80点以上、100点以下	D（可）：21点以上、40点未満	B（優）：60点以上、80点未満	F（不可）：20点以下	C（良）：40点以上、60点未満	※5段階評価
A（秀）：80点以上、100点以下	D（可）：21点以上、40点未満									
B（優）：60点以上、80点未満	F（不可）：20点以下									
C（良）：40点以上、60点未満	※5段階評価									
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目（チェック項目）を総合的に判断し、総合得点より評価する。									
教科書・参考書	情報セキュリティ管理士認定試験 公式テキスト（技術評論者） 情報セキュリティ管理士 公式問題集（一般社団法人 全日本情報学習振興協会） 情報セキュリティ管理士認定試験 精選問題集 Vol.4（一般社団法人 全日本情報学習振興協会）									

科目名	B3020	SQL 概論	担当教員	浜崎	
履修年次	1 年次	総授業時間	55	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目		○	
備考					
授業概要	基本的なSQL文を作成・実行する方を身につける				
達成目標	データベースシステムの概要を理解し、基本的なSQL文を書くことができるようになる				
授業計画	1) 第0章 データベースを学ぶにあたって (1) 2) 第1章 はじめてのSQL (2) 3) 第2章 基本文法と4大命令 (2) 4) 第3章 操作する行の絞り込み (2) 5) 第4章 検索結果の加工 (2) 6) 第5章 式と関数 (4) 7) 第6章 集計とグループ化 (4) 8) 第7章 副問い合わせ (6) 9) 第8章 複数テーブルの結合 (6) 10) 第9章 トランザクション (4) 11) 第10章 テーブルの作成 (4) 12) 第11章 さまざまな支援機能 (4) 13) 第12章 テーブルの設計 (6) 14) 演習問題 (8)				
授業方法・特徴	PC上で実際に操作しながらSQLを動かすことで、SQLとデータベースの関連について理解できる				
成績評価基準	A (秀) : 80 点以上、100 点以下 B (優) : 60 点以上、80 点未満 C (良) : 40 点以上、60 点未満 D (可) : 21 点以上、40 点未満 F (不可) : 20 点以下 ※ 5 段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	スッキリわかるSQL入門 第2版				

科目名	B3030	デザイン制作演習①	担当教員	土内・佐藤	
履修年次	1年次	総授業時間	110	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	合同での制作活動を通して、制作技術の向上を図るとともに、グループでの制作におけるコミュニケーション能力を養う				
達成目標	グループ制作を行うことによりコミュニケーション能力と情報伝達能力、状況把握能力を向上させる				
授業計画	<p>(第1クール)</p> <p>1. デザイン課題の提示とグループ分け</p> <p>2-6. コンセプトやデザイン構成、作業の役割分担決定 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>7-40. デザイン課題制作 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>41-51. プレゼン準備 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>52-55. プレゼンテーション (講評含)</p> <p>(第2クール)</p> <p>56. デザイン課題の提示とグループ分け</p> <p>57-61. コンセプトやデザイン構成、作業の役割分担決定 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>62-95. デザイン課題制作 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>96-106. プレゼン準備 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>107-110. プレゼンテーション (講評含)</p>				
授業方法・特徴	上級生の指示通りに操作等ができるか、班ごとの話し合いに積極的に参加し、自身の意見を言えるかどうかを問う				
成績評価基準	<p>A (秀) : 80点以上、100点以下</p> <p>B (優) : 60点以上、80点未満</p> <p>C (良) : 40点以上、60点未満</p> <p>D (可) : 21点以上、40点未満</p> <p>F (不可) : 20点以下</p> <p>※5段階評価</p>				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					

科目名	B3040	日商PC対策文書作成	担当教員	石田	
履修年次	1年次	総授業時間	110	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	簡潔でわかりやすいビジネス文書や、業務の目的に応じた適切で説得力のある資料等の作成、および取り扱い方法をMicrosoft Wordを使いながら学習し、日商PC検定 文書作成の取得を目指す。				
達成目標	日商PC検定 文書作成の取得。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネス文書 (6) 2. ビジネス文書のライティング技術 (8) 3. 電子メールのライティング技術 (8) 4. ビジネス図解の基本 (6) 5. ビジネス文書の管理 (6) 6. 基本的なビジネス文書の作成 (6) 7. 表のあるビジネス文書の作成 (8) 8. 図形のあるビジネス文書の作成 (8) 9. 知識問題復習 (8) 10. 模擬試験① (10) 11. 知識問題復習 (8) 12. 模擬試験② (10) 13. 知識問題復習 (8) 14. 模擬試験③ (10) 				
授業方法・特徴	前半ではビジネス文書の作成方法・電子メールの作成方法を学習し、後半ではその知識をWordを用いて演習する。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	よくわかるマスター 日商PC検定試験 文書作成 (FOM出版)				

科目名	B4011	高度試験対策①A	担当教員	堀	
履修年次	1年次	総授業時間	74	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	IPAが主催する国家試験のための対策授業。				
達成目標	応用情報技術者試験または高度試験に合格できるレベルの知識を習得する。				
授業計画	<p>1. 基礎知識分野の理解（午前分野の整理）（20）</p> <p>1. 1. ハードウェア</p> <p>1. 2. 情報処理システム</p> <p>1. 3. ソフトウェア</p> <p>1. 4. データベース</p> <p>1. 5. ネットワーク</p> <p>1. 6. セキュリティ</p> <p>1. 7. アルゴリズム</p> <p>1. 8. プロジェクトマネジメント</p> <p>1. 9. サービスマネジメント</p> <p>1. 10. システム監査</p> <p>1. 11. 企業と法務</p> <p>1. 12. 経営戦略</p> <p>1. 13. 情報システム戦略</p> <p>1. 14. 開発技術</p> <p>2. 午後試験対策（54）</p> <p>2. 1. 情報セキュリティ</p> <p>2. 2. ハードウェア</p> <p>2. 3. ソフトウェア</p> <p>2. 4. データベース</p> <p>2. 5. ネットワーク</p> <p>2. 6. ソフトウェア設計</p> <p>2. 7. プロジェクトマネジメント</p> <p>2. 8. システム戦略</p> <p>2. 9. 組込み情報システム</p> <p>3. 模擬試験・解説（「B4012：高度試験対策①B」で実施）</p>				
授業方法・特徴	講義形式による座学授業とする。				
成績評価基準	<p>A（秀）：80点以上、100点以下</p> <p>B（優）：60点以上、80点未満</p> <p>C（良）：40点以上、60点未満</p> <p>D（可）：21点以上、40点未満</p> <p>F（不可）：20点以下</p> <p>※5段階評価</p>				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目（チェック項目）を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	各種模擬試験問題				

科目名	B4012	高度試験対策①B	担当教員	堀	
履修年次	2年次	総授業時間	36	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考	1年次「B4011：高度試験対策①A」の継続				
授業概要	IPAが主催する国家試験のための対策授業。				
達成目標	応用情報技術者試験または高度試験に合格できるレベルの知識を習得する。				
授業計画	3. 模擬試験・解説 (36)				
授業方法・特徴	講義形式による座学授業とする。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	各種模擬試験問題				

科目名	B4021	基本情報対策①A	担当教員	浜崎	
履修年次	1年次	総授業時間	74	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	IPAが主催する国家試験のための対策授業。				
達成目標	基本情報技術者試験に合格できるレベルの知識を習得する。				
授業計画	<p>1. 基礎知識分野の理解 (20)</p> <p>1. 1. ハードウェア</p> <p>1. 2. 情報処理システム</p> <p>1. 3. ソフトウェア</p> <p>1. 4. データベース</p> <p>1. 5. ネットワーク</p> <p>1. 6. セキュリティ</p> <p>1. 7. アルゴリズム</p> <p>1. 8. プロジェクトマネジメント</p> <p>1. 9. サービスマネジメント</p> <p>1. 10. システム監査</p> <p>1. 11. 企業と法務</p> <p>1. 12. 経営戦略</p> <p>1. 13. 情報システム戦略</p> <p>1. 14. 開発技術</p> <p>2. 午後試験対策 (54)</p> <p>2. 1. 情報セキュリティ</p> <p>2. 2. ハードウェア</p> <p>2. 3. ソフトウェア</p> <p>2. 4. データベース</p> <p>2. 5. ネットワーク</p> <p>2. 6. ソフトウェア設計</p> <p>2. 7. プロジェクトマネジメント</p> <p>2. 8. システム戦略</p> <p>2. 9. データ構造及びアルゴリズム</p> <p>2. 10. ソフトウェア開発 (C言語)</p> <p>2. 11. ソフトウェア開発 (表計算)</p> <p>3. 模擬試験・解説 (「B4022: 基本情報対策①B」で実施)</p>				
授業方法・特徴	講義形式による座学授業とする。				
成績評価基準	<p>A (秀) : 80点以上、100点以下</p> <p>B (優) : 60点以上、80点未満</p> <p>C (良) : 40点以上、60点未満</p> <p>D (可) : 21点以上、40点未満</p> <p>F (不可) : 20点以下</p> <p>※5段階評価</p>				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	各種模擬試験問題				

科目名	B4022	基本情報対策①B	担当教員	浜崎	
履修年次	2年次	総授業時間	36	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考	1年次「B4021：基本情報対策①A」の継続				
授業概要	IPAが主催する国家試験のための対策授業。				
達成目標	基本情報技術者試験に合格できるレベルの知識を習得する。				
授業計画	3. 模擬試験・解説 (36)				
授業方法・特徴	講義形式による座学授業とする。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	各種模擬試験問題				

科目名	B4031	eスポーツ演習②A	担当教員	【プロ選手】・小濱	
履修年次	1年次	総授業時間	74	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	主にスポーツタイトルを用いて、基礎知識・戦略・攻略法等を学ぶとともに、ゲームを通じたコミュニケーション手法やマナーについて学ぶ ※採用タイトル「未定」				
達成目標	eスポーツ大会への参加と実績を作るとともに、大会参加を通して一般的なマナーや運営・他参加者とのコミュニケーションスキルを身につける				
授業計画	1) 基礎知識 (5) 2) 戦略学習 (20) 3) 攻略考察 (20) 4) 実践練習 (19) ※「B4032：eスポーツ演習②B」で継続 5) イベント参加時のマナー (5) 6) 運営・プレイヤーとのコミュニケーション (5)				
授業方法・特徴	eスポーツプロ選手によるオンライン講義及び実践授業と共に、座学による学習を併用				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					

科目名	B4032	eスポーツ演習②B	担当教員	【プロ選手】・小濱	
履修年次	2年次	総授業時間	36	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考	1年次「B4031：eスポーツ演習②A」の継続				
授業概要	主にスポーツタイトルを用いて、基礎知識・戦略・攻略法等を学ぶとともに、ゲームを通じたコミュニケーション手法やマナーについて学ぶ ※採用タイトル「未定」				
達成目標	eスポーツ大会への参加と実績を作るとともに、大会参加を通して一般的なマナーや運営・他参加者とのコミュニケーションスキルを身につける				
授業計画	1) 実践練習 (19)				
授業方法・特徴	eスポーツプロ選手によるオンライン講義及び実践授業と共に、座学による学習を併用				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					

科目名	B4041	デザイン制作演習②A	担当教員	佐藤	
履修年次	1年次	総授業時間	74	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	合同での制作活動を通して、制作技術の向上を図るとともに、グループでの制作におけるコミュニケーション能力を養う				
達成目標	グループ制作を行うことによりコミュニケーション能力と情報伝達能力、状況把握能力を向上させる				
授業計画	<p>(第1クール)</p> <p>1. デザイン課題の提示とグループ分け</p> <p>2-6. コンセプトやデザイン構成、作業の役割分担決定 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>7-40. デザイン課題制作 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>41-51. プレゼン準備 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>52-55. プレゼンテーション (講評含)</p> <p>(第2クール)</p> <p>56. デザイン課題の提示とグループ分け</p> <p>57-61. コンセプトやデザイン構成、作業の役割分担決定 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>62-74. デザイン課題制作 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>※以降、「B4042: デザイン制作演習②B」で実施</p>				
授業方法・特徴	上級生の指示通りに操作等ができるか、班ごとの話し合いに積極的に参加し、自身の意見を言えるかどうかを問う				
成績評価基準	<p>A (秀) : 80点以上、100点以下</p> <p>B (優) : 60点以上、80点未満</p> <p>C (良) : 40点以上、60点未満</p> <p>D (可) : 21点以上、40点未満</p> <p>F (不可) : 20点以下</p> <p>※5段階評価</p>				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					

科目名	B4042	デザイン制作演習②B	担当教員	佐藤	
履修年次	2年次	総授業時間	36	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考	1年次「A4041：デザイン制作演習②A」の継続				
授業概要	合同での制作活動を通して、制作技術の向上を図るとともに、グループでの制作におけるコミュニケーション能力を養う				
達成目標	グループ制作を行うことによりコミュニケーション能力と情報伝達能力、状況把握能力を向上させる				
授業計画	<p>(第2クール続き)</p> <p>1-21. デザイン課題制作 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>22-32. プレゼン準備 ※掛ける時間数はグループごとに前後する</p> <p>33-36. プレゼンテーション (講評含)</p>				
授業方法・特徴	上級生の指示通りに操作等ができるか、班ごとの話し合いに積極的に参加し、自身の意見を言えるかどうかを問う				
成績評価基準	<p>A (秀) : 80点以上、100点以下 D (可) : 21点以上、40点未満</p> <p>B (優) : 60点以上、80点未満 F (不可) : 20点以下</p> <p>C (良) : 40点以上、60点未満 ※5段階評価</p>				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					

科目名	B4051	ビジネス文書 A	担当教員	石田						
履修年次	1 年次	総授業時間	74	授業形態	講義					
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目								
備考										
授業概要	ビジネスシーンで必要となる文書作成における表記・表現・実務技能を学習する									
達成目標	ビジネス文書作成の基礎的能力が身につく、ビジネスにおける文書業務の重要性が理解できる。実務技能検定協会が主催するビジネス文書検定 1 級または 2 級の合格を目指す。									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書は正しく丁寧に書く (6) 2. 横書き通信文の構成とレイアウト (6) 3. 用字 (6) 4. 用語 (6) 5. 正確な文章 (6) 6. 分かりやすい文章 (6) 7. 礼儀正しい文章 (6) 8. 一般の社内文書が書ける (6) 9. 業務用社外文書が文例を見て書ける (6) 10. 社交文書が文例を見て書ける (6) 11. 文書の取り扱い (6) 12. 部下や後輩が書いたものについて、適切な助言や添削指導ができる (8) 13. 模擬試験 (「B4052: ビジネス文書 B」で実施) 									
授業方法・特徴	講義と演習をおこなう。また、実習教材を使用し実践的な学習をおこなう。									
成績評価基準	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">A (秀) : 80 点以上、100 点以下</td> <td style="width: 50%;">D (可) : 21 点以上、40 点未満</td> </tr> <tr> <td>B (優) : 60 点以上、80 点未満</td> <td>F (不可) : 20 点以下</td> </tr> <tr> <td>C (良) : 40 点以上、60 点未満</td> <td>※ 5 段階評価</td> </tr> </table>				A (秀) : 80 点以上、100 点以下	D (可) : 21 点以上、40 点未満	B (優) : 60 点以上、80 点未満	F (不可) : 20 点以下	C (良) : 40 点以上、60 点未満	※ 5 段階評価
A (秀) : 80 点以上、100 点以下	D (可) : 21 点以上、40 点未満									
B (優) : 60 点以上、80 点未満	F (不可) : 20 点以下									
C (良) : 40 点以上、60 点未満	※ 5 段階評価									
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。									
教科書・参考書	ビジネス文書検定 受験ガイド 1・2 級 (早稲田教育出版) 実問題集 1・2 級 (早稲田教育出版)									

科目名	B4052	ビジネス文書B	担当教員	石田	
履修年次	2年次	総授業時間	36	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考	1年次「B4051：ビジネス文書A」の継続				
授業概要	ビジネスシーンで必要となる文書作成における表記・表現・実務技能を学習する				
達成目標	ビジネス文書作成の基礎的能力が身につく、ビジネスにおける文書業務の重要性が理解できる。 実務技能検定協会が主催するビジネス文書検定1級または2級の合格を目指す。				
授業計画	1. 模擬試験 (36)				
授業方法・特徴	講義と演習をおこなう。また、実習教材を使用し実践的な学習をおこなう。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 D (可) : 21点以上、40点未満 B (優) : 60点以上、80点未満 F (不可) : 20点以下 C (良) : 40点以上、60点未満 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	ビジネス文書検定 受験ガイド1・2級 (早稲田教育出版) 実問題集1・2級 (早稲田教育出版)				

科目名	B5010	A I 基礎	担当教員	浜崎	
履修年次	2 年次	総授業時間	61	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	人工知能（A I）の活用を目的化せず、ツールとして使いこなせる力を養うため、活用する上で踏まえておきたい要素について学ぶ				
達成目標	A I を活用するために必要な基礎知識を習得する A I リテラシー認定試験への合格				
授業計画	1) データはどのように処理されてきたのか（10） 1-1 データの種類 1-2 データの集計と加工 1-3 データの読み方 1-4 データの可視化 ■ 章末問題 2) ビッグデータも怖くない!データサイエンスの基礎（10） 2-1 データ分析で最初にやること 2-2 データ分析の代表的な手法 2-3 Webサイトの改善から体験するデータ分析 2-4 データ分析基盤の構築 ■ 章末問題 3) IoTの基礎（12） 3-1 新世代のIoT 3-2 IoTシステムの仕組みと構成 3-3 IoTとストリームデータ処理 3-4 IoTをビジネスにどうやって活かすか ■ 章末問題 4) AIの基礎（14） 4-1 AIでできること・できないこと 4-2 AIの基礎技術 4-3 AIに学習させる方法 4-4 代表的なアルゴリズム 4-5 画像認識をしてみる ■ 章末問題 5) AI検定対策（15）				
授業方法・特徴	主に講義を中心とした授業展開とし、ディスカッション形式での意見交換の時間を取り入れる				
成績評価基準	A（秀）：80点以上、100点以下 B（優）：60点以上、80点未満 C（良）：40点以上、60点未満 D（可）：21点以上、40点未満 F（不可）：20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目（チェック項目）を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	A I データサイエンスの基礎				

科目名	B5020	eスポーツ演習③	担当教員	西本	
履修年次	2年次	総授業時間	61	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	主にスポーツタイトルを用いて、プロ選手から学んだ戦略・攻略法等をもとにスキルアップのための実践練習を行う。 ※採用タイトル「eFootball2022」				
達成目標	国体県予選で戦績を残すとともに、仲間とのコミュニケーション力を高める				
授業計画	1) 実践練習 (61)				
授業方法・特徴	実機を活用した実践練習を行う ※内容理解度に関しては、スキル上達度と国体県予選での戦績をもとに代替評価を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					

科目名	B5030	デザイン制作	担当教員	土内・佐藤	
履修年次	2年次	総授業時間	61	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	デザイン課題の制作し、プレゼンテーションを行い評価しあう				
達成目標	制作からプレゼンテーションまでの一連の流れを行うことで、デザインスキルの向上はもちろん、コミュニケーション能力と情報伝達能力、状況把握能力を向上させる				
授業計画	1. デザイン課題の提示 2-6. コンセプトやデザイン構成、作業の役割分担決定 7-34. デザイン課題制作 35-44. プレゼン準備 45-48. プレゼンテーション（講評含）				
授業方法・特徴	課題制作に積極的に取り組み、プレゼンテーションでは成果物のポイントを的確にわかりやすく伝えることができるかを問う				
成績評価基準	A（秀）：80点以上、100点以下 B（優）：60点以上、80点未満 C（良）：40点以上、60点未満 D（可）：21点以上、40点未満 F（不可）：20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目（チェック項目）を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					

科目名	B5040	日商PC対策プレゼン	担当教員	西本	
履修年次	2年次	総授業時間	61	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	与えられた情報を整理・分析し、図解技術やレイアウト技術、カラー表現技術等を用いて、適切でわかりやすいプレゼンテーション資料の作成、および取り扱い方法をMicrosoft PowerPoint を使いながら学習し、日商PC検定 プレゼン資料作成の取得を目指す。				
達成目標	日商PC検定 プレゼン資料作成の取得。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンの基本 (4) 2. プレゼンの企画・設計 (6) 3. プレゼン資料の作成 (6) 4. わかりやすいプレゼン資料 (5) 5. 見やすくする表現技術 (6) 6. プレゼンの実施 (8) 7. 知識問題復習 (4) 8. 模擬試験① (6) 9. 知識問題復習 (4) 10. 模擬試験② (6) 11. 模擬試験③ (6) 				
授業方法・特徴	ストーリー構成、情報収集、スライドの作成方法について演習中心に学習する。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 D (可) : 21点以上、40点未満 B (優) : 60点以上、80点未満 F (不可) : 20点以下 C (良) : 40点以上、60点未満 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					

科目名	B5050	I o T 概論		担当教員	堀						
履修年次	2 年次	総授業時間	122	授業形態	講義						
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目									
備考											
授業概要	IoTに関わる技術等を学び、構成要素の理解とIoTを活用したシステムの理解を深め、IoT検定の合格を目指す										
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> IoTに関連する技術について、その概要と利用シーンを理解する IoTの構成要素について理解し、それらを組み合わせた新しい仕組みについて考えることができる IoTに関する全般的な知識を身につけ、IoT検定に合格できる 										
授業計画	<p>1. 戦略とマネジメント (12)</p> <p>1. 1. 戦略・規格 1. 2. プロジェクトマネジメント 1. 3. 人材育成と企業間連携</p> <p>2. 産業システム (12)</p> <p>2. 1. エネルギー関連のIoT 2. 2. 身近なIoT 2. 3. 産業界のIoT 2. 4. 海外におけるIoTのプロジェクト 2. 5. IoT関係の標準規格</p> <p>3. 法律 (8)</p> <p>3. 1. 通信関連の法律 3. 2. 製造及び航空法に関する法律 3. 3. ライセンス</p> <p>4. ネットワーク (12)</p> <p>4. 1. データ送信プロトコル 4. 2. WANおよびLAN 4. 3. PAN</p> <p>5. デバイス (16)</p> <p>5. 1. 制御装置 5. 2. マイクロコントローラー 5. 3. 入出力 5. 4. IoTデバイスを動かすための仕組み 5. 5. アクチュエーター 5. 6. 電源と実装技術・製造技術 5. 7. アナログ信号のセンサー 5. 8. デジタル処理のセンサー 5. 9. スマートフォン</p> <p>6. プラットフォーム (12)</p> <p>6. 1. クラウド 6. 2. 分散処理 6. 3. データ処理</p> <p>7. データ分析 (16)</p> <p>7. 1. データベース 7. 2. 機械学習</p> <p>8. セキュリティ (16)</p> <p>8. 1. 暗号化 8. 2. 攻撃対策 8. 3. 認証技術 8. 4. 監視・運用</p> <p>9. 試験対策 (18)</p> <p>※各項目達成時には、復習として確認問題を実施する</p>										
授業方法・特徴	教科書を用いた基本知識の習得は座学での講義をメインとし、試験対策時は、インターネットサービス等を用いたオンライン形式での学習も取り入れる										
成績評価基準	<table border="0"> <tr> <td>A (秀) : 80点以上、100点以下</td> <td>D (可) : 21点以上、40点未満</td> </tr> <tr> <td>B (優) : 60点以上、80点未満</td> <td>F (不可) : 20点以下</td> </tr> <tr> <td>C (良) : 40点以上、60点未満</td> <td>※5段階評価</td> </tr> </table>					A (秀) : 80点以上、100点以下	D (可) : 21点以上、40点未満	B (優) : 60点以上、80点未満	F (不可) : 20点以下	C (良) : 40点以上、60点未満	※5段階評価
A (秀) : 80点以上、100点以下	D (可) : 21点以上、40点未満										
B (優) : 60点以上、80点未満	F (不可) : 20点以下										
C (良) : 40点以上、60点未満	※5段階評価										
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目(チェック項目)を総合的に判断し、総合得点より評価する。										
教科書・参考書	「IoTの全てを網羅した決定版 IoTの教科書」(日経BP) 「問題を解いて実力をチェック IoTの問題集」(日経BP) 「IoTの基本・仕組み・重要事項が全部わかる教科書」(ソフトバンククリエイティブ)【参考】										

科目名	B5060	動画編集基礎	担当教員	土内	
履修年次	2年次	総授業時間	122	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目		○	
備考					
授業概要	Adobe Premiere Pro を用いた動画編集の基本、アニメーションやエフェクトの使い方、クオリティをアップするためのさまざまなテクニックなどを学ぶ				
達成目標	動画編集の基本を理解し、Adobe Premiere Pro の基本機能を扱えるようになる				
授業計画	1. Premiere Pro を始めよう (6) 2. Premiere Pro の基本操作を覚える (10) 3. 動画編集の基本テクニックをマスターする (20) 4. アニメーションやエフェクトを使いこなす (20) 5. クオリティをアップする！こだわり演出手法 (25) 6. プロの現場を体験！動画制作テクニック (25) 7. ステップアップに役立つ知識 (16)				
授業方法・特徴	Adobe Premiere Pro を用いた演習方式の授業とする				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	Premiere Pro よくばり入門				

科目名	B5070	Web制作演習	担当教員	浜崎	
履修年次	2年次	総授業時間	122	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目		○	
備考					
授業概要	HTMLおよびCSSを基礎から学習し、ツールに頼らずにホームページを作成することができる技術を習得する。				
達成目標	HTMLやCSSで書かれている内容を理解し、簡単なホームページを作成することができるようになる				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) 最初に知っておこう！Webサイトの基本（8） 2) Webの基本構造を作る！HTMLの基本（20） 3) Webのデザインを作る！CSSの基本（30） 4) フルスクリーンのWebサイトを制作する（10） 5) 2カラムのWebサイトを制作する（10） 6) タイル型のWebサイトを制作する（10） 7) 外部メディアを利用する（10） 8) 制作実習Ⅰ（12） 9) 制作実習Ⅱ（12） 				
授業方法・特徴	パソコンを使った実習中心の授業				
成績評価基準	A（秀）：80点以上、100点以下 B（優）：60点以上、80点未満 C（良）：40点以上、60点未満 D（可）：21点以上、40点未満 F（不可）：20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目（チェック項目）を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座				

科目名	B6010	システム設計	担当教員	浜崎	
履修年次	2年次	総授業時間	57	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目		○	
備考					
授業概要	システム開発における要件定義からテストの流れ、および各種開発技法を体系的に学習し、実際に要件定義について疑似体験する。				
達成目標	システム設計の流れを理解して開発を行うことができるようになる。 要件定義書の作成を行うことができるようになる。				
授業計画	1) ソフトウェア開発の基礎知識 (5) ソフトウェア開発とは 基本的なルール 2) ウォータフォール型開発モデルでの開発 (10) 開発プロセスと要求定義・要件定義 設計 製造とテスト 3) アジャイル型開発モデルでの開発 (10) アジャイル型開発モデル スプリントでの活動 4) プロジェクトマネジメント (10) プロジェクトマネジメント セキュリティ 5) 演習：要件定義書の作成 (22) 要件定義 レビュー・評価				
授業方法・特徴	テキストがひとつおわり終わったあとで要件定義に関する実習をおこなう				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの新人研修				

科目名	B6020	動画編集実践	担当教員	土内	
履修年次	2年次	総授業時間	114	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目		○	
備考					
授業概要	Adobe Premiere Pro を用いた動画編集の応用として、動画のクオリティをアップするためのさまざまな上級テクニックなど学び、実践する				
達成目標	動画編集のテクニックを習得し、Adobe Premiere Pro を使いこなせるようになる				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オープニングで使えるテクニック (10) 2. 人・モノの登場シーンで使えるテクニック (10) 3. 間延びした動画にメリハリを付けるテクニック (10) 4. エンディングで使えるテクニック (10) 5. 字幕を魅せるテクニック (10) 6. 音を聞かせるテクニック (10) 7. 編集がサクサク進む！時短テクニック (10) 8. 総合演習①制作 (20) 9. 総合演習①発表・レビュー (2) 10. 総合演習②制作 (20) 11. 総合演習②発表・レビュー (2) 				
授業方法・特徴	Adobe Premiere Pro を用いた演習方式の授業とする				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	Premiere Pro 演出テクニック100 すぐに役立つ！動画表現の幅が広がるアイデア集				

科目名	B6030	A c c e s s 実 習	担当教員	西本	
履修年次	2 年 次	総授業時間	114	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	Microsoft Access2019を使ってデータベースに関する学習を行い、データベースの概念を理解するとともに、MOS Access2019に合格できる技術力を身につける				
達成目標	MOS Access2019に合格する				
授業計画	<p>1) データベースの作成と管理 (12)</p> <p>データベースを作成する管理する リレーションシップとキーを管理する データベース内を移動する データベースを保護する管理する データを印刷するエクスポートする</p> <p>2) テーブルの作成 (12)</p> <p>テーブルを作成する フィールドを作成する変更する テーブルを管理する テーブル内のレコードを管理する</p> <p>3) クエリの作成 (18)</p> <p>クエリを作成する クエリを変更する クエリ内で集計やグループ化を行う</p> <p>4) フォームの作成 (18)</p> <p>フォームを作成する フォームにコントロールを設定する フォームを作成する書式設定する</p> <p>5) レポートの作成 (18)</p> <p>レポートを作成する レポートの作成コントロールを設定する レポートを書式設定する</p> <p>6) 模擬試験 (36)</p>				
授業方法・特徴	パソコンを使った実習を行い、Access2019への合格を目指す				
成績評価基準	A (秀) : 80 点以上、100 点以下 D (可) : 21 点以上、40 点未満 B (優) : 60 点以上、80 点未満 F (不可) : 20 点未満 C (良) : 40 点以上、60 点未満 ※ 5 段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	よくわかるマスターMOS Access2019対策テキスト&問題集				

科目名	B6040	高度試験対策③	担当教員	堀	
履修年次	2年次	総授業時間	57	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	IPAが主催する国家試験のための対策授業。主に午後試験の必修選択分野を中心に実施する。				
達成目標	応用情報技術者試験または高度試験に合格できるレベルの知識を習得する。				
授業計画	1. 午後試験対策 (30) 情報セキュリティ その他関連知識 2. 模擬試験・解説 (27)				
授業方法・特徴	講義形式による座学授業とする。				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	各種模擬試験問題				

科目名	B6050	基本情報対策③	担当教員	浜崎	
履修年次	2年次	総授業時間	57	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	IPAが主催する国家試験のための対策授業。主に午後試験の必修選択分野を中心に実施する。				
達成目標	基本情報技術者試験に合格できるレベルの知識を習得する。				
授業計画	<p>1. 関連用語復習 (47)</p> <p>基礎理論</p> <p>アルゴリズムとプログラミング</p> <p>コンピュータ構成要素</p> <p>システム構成要素</p> <p>ソフトウェア</p> <p>ハードウェア</p> <p>ヒューマンインタフェース</p> <p>マルチメディア</p> <p>データベース</p> <p>ネットワーク</p> <p>セキュリティ</p> <p>システム開発技術</p> <p>ソフトウェア開発管理技術</p> <p>プロジェクトマネジメント</p> <p>サービスマネジメント</p> <p>システム監査</p> <p>システム戦略</p> <p>システム企画</p> <p>経営戦略マネジメント／技術開発マネジメント</p> <p>技術戦略マネジメント</p> <p>ビジネスインダストリ</p> <p>企業活動</p> <p>法務</p> <p>2. 模擬試験・解説 (10)</p>				
授業方法・特徴	講義形式による座学授業とする。				
成績評価基準	<p>A (秀) : 80点以上、100点以下</p> <p>B (優) : 60点以上、80点未満</p> <p>C (良) : 40点以上、60点未満</p> <p>D (可) : 21点以上、40点未満</p> <p>F (不可) : 20点以下</p> <p>※5段階評価</p>				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	令和04年 基本情報技術者 合格教本				

科目名	B6060	応用数学	担当教員	木場	
履修年次	2年次	総授業時間	57	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	AIやデータ分析等で利用される数学分野についての理解を深める。				
達成目標	データの可視化、傾向分析等に必要な基礎知識を身につける				
授業計画	1. 代表値とグラフの基本 (12) 2. 2種類のデータの間関係 (8) 3. 仮説検定の基本的な考え方と準備 (11) 4. 確率分布 (11) 5. 統計的な推測 (5) 6. 確認問題 (10)				
授業方法・特徴	教科書を用いて一通りの考え方を学習し、オリジナル問題にて再確認を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	データの分析と統計的な推測が1冊でしっかりわかる本				

科目名	B6070	JavaScript基礎	担当教員	浜崎	
履修年次	2年次	総授業時間	112	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	動的なWebサイト制作でよく利用されるJavaScriptの基本から応用まで、実際にWebサイト制作を交えながら学習を行う。				
達成目標	JavaScriptの基本的な仕組みを理解し、Webサイトへの組み込みができるようになる				
授業計画	1. 値と変数 (4) 2. 制御構造 (6) 3. 関数と関数型プログラミング (8) 4. オブジェクト指向プログラミング (8) 5. 数と日付/時刻 (6) 6. 文字列と正規表現 (6) 7. 配列とコレクション (6) 8. 国際化 (4) 9. 非同期プログラミング (10) 10. モジュール (8) 11. メタプログラミング (8) 12. イテレータとジェネレータ (8) 13. 総合演習 (30)				
授業方法・特徴	テキストがひとつおわり終わったあとで要件定義に関する実習をおこなう				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	授業開始時に適宜選定する				

科目名	B6080	R P A 入門	担当教員	石田	
履修年次	2 年次	総授業時間	57	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	業務効率化のための R P A について学び、Power Automate Desktop を用いて事務作業の効率化手順を学ぶ				
達成目標	R P A についての理解と、業務効率化のためのスキルを習得する				
授業計画	1. Power Automate Desktop の基本を学ぼう (8) 2. フローの作成方法を知ろう (12) 3. Excel の作業を自動化しよう (12) 4. Web フォームへの入力を自動化しよう (10) 5. メール送信を自動化しよう (6) 6. 総合演習 (9)				
授業方法・特徴	Power Automate Desktop を利用しながら、作業の自動化を学ぶ				
成績評価基準	A (秀) : 80 点以上、100 点以下 B (優) : 60 点以上、80 点未満 C (良) : 40 点以上、60 点未満 D (可) : 21 点以上、40 点未満 F (不可) : 20 点以下 ※ 5 段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	できる Power Automate Desktop ノーコードで実現するはじめての RPA				

科目名	B6060	応用数学	担当教員	木場	
履修年次	2年次	総授業時間	55	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	データに基づいて客観的に判断し、科学的に問題を解決する能力を学ぶ				
達成目標	統計検定3級合格に必要な考え方、数学的知識を習得する				
授業計画	1. データの種類とグラフ表現 (4) 2. 量的変数の要約方法 (4) 3. 1変数データの分析 (4) 4. 2変数データの分析 (5) 5. 回帰直線と予測 (6) 6. 確率 (6) 7. 確率変数と確率分布 (6) 8. データの収集と実験・観察・調査 (5) 9. 総計的な推測 (5) 10. 総合演習 (10)				
授業方法・特徴	教科書を用いて一通りの考え方を学習し、オリジナル問題にて再確認を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	日本統計学会公式認定 統計検定3級対応データの分析 統計検定3級・4級 公式問題集				

科目名	B7020	マーケティング基礎	担当教員	堀	
履修年次	2年次	総授業時間	55	授業形態	講義
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	Webを中心としたネットワークを活用して、売上の拡大、各種ブランディング、顧客満足度向上、業務の効率化など、自社と市場との関係を構築するインターネット・マーケティングを学ぶ				
達成目標	ネットマーケティング検定に合格できる程度の知識を習得する				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネットマーケティングの特徴 (5) 2. インターネット技術概論 (5) 3. 総論 (2) 4. インターネットリサーチ (2) 5. プロモーション (4) 6. インターネット広告 (3) 7. インターネットを利用した販売 (2) 8. 効果測定 (2) 9. 外注管理 (2) 10. 各種ポリシー (3) 11. 関連法規 (7) 12. インターネットとコンプライアンス (2) 13. 試験対策 (16) 				
授業方法・特徴	教科書を用いて一通りの考え方を学習し、過去問題集にて再確認を行う				
成績評価基準	A (秀) : 80点以上、100点以下 B (優) : 60点以上、80点未満 C (良) : 40点以上、60点未満 D (可) : 21点以上、40点未満 F (不可) : 20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input type="checkbox"/> 成果物評価 <input checked="" type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書	ネットマーケティング検定公式テキスト ネットマーケティング検定過去問題集				

科目名	B7030	OJT・開発演習		担当教員	西・堀・受入企業						
履修年次	2年次	総授業時間	165	授業形態	演習						
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			○						
備考											
授業概要	実際に行われた小規模の開発案件を模倣し、実際にチームを組んで設計から開発までのプロセスを学ぶ。一部メンバーについては、OJT受入企業内でのサンプルプロジェクトに取り組む。										
達成目標	設計から開発までの一連のプロセスを理解し、実践できる。										
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム開発全体の流れを理解する (4) 2. 顧客との調整 (4) 3. 要件定義 (10) 4. フィードバックの重要性 (2) 5. 要件定義書レビュー (6) 6. 外部設計 (25) 7. 外部設計書レビュー (8) 8. 詳細設計 (30) 9. 詳細設計書レビュー (8) 9. 開発作業 (40) 10. テストとデバッグ (20) 11. 成果物発表 (8) 										
授業方法・特徴	<p>チーム制による実習形式をとる。</p> <p>担当講師が疑似顧客となり、ロールプレイ方式で設計を行っていく。</p> <p>OJTについては、上記の流れに沿って受入企業側で調整いただく。</p>										
成績評価基準	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">A (秀) : 80点以上、100点以下</td> <td style="width: 50%;">D (可) : 21点以上、40点未満</td> </tr> <tr> <td>B (優) : 60点以上、80点未満</td> <td>F (不可) : 20点以下</td> </tr> <tr> <td>C (良) : 40点以上、60点未満</td> <td>※5段階評価</td> </tr> </table>					A (秀) : 80点以上、100点以下	D (可) : 21点以上、40点未満	B (優) : 60点以上、80点未満	F (不可) : 20点以下	C (良) : 40点以上、60点未満	※5段階評価
A (秀) : 80点以上、100点以下	D (可) : 21点以上、40点未満										
B (優) : 60点以上、80点未満	F (不可) : 20点以下										
C (良) : 40点以上、60点未満	※5段階評価										
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目 (チェック項目) を総合的に判断し、総合得点より評価する。										
教科書・参考書	なし										

科目名	B7040	eスポーツ演習④	担当教員	小濱・西本	
履修年次	2年次	総授業時間	165	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目			
備考					
授業概要	実際のeスポーツ大会を企画し、広報・準備・大会運営・評価といった一連の流れを実践する。期間中、2回の大会を運営し、1回目は小規模大会、2回目は中規模大会を実施する。				
達成目標	eスポーツ大会の一連の運営について理解し、管理・行動することができる				
授業計画	1. 大会①：企画（5） 2. 大会①：プロモーション（20） 3. 大会①：準備（16） 4. 大会①：運営（10） 5. 大会①：事後評価・レビュー（10） 6. 大会②：企画（8） 7. 大会②：プロモーション（40） 8. 大会②：準備（30） 9. 大会②：運営（10） 10. 大会②：事後評価・レビュー（16）				
授業方法・特徴	メンバー内でリーダー・サブリーダーを決め、それぞれメインの役割分担を決めたうえで取り組む ※週2回はミーティングを実施し、各担当の状況把握を全員で実施する				
成績評価基準	A（秀）：80点以上、100点以下 B（優）：60点以上、80点未満 C（良）：40点以上、60点未満 D（可）：21点以上、40点未満 F（不可）：20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目（チェック項目）を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					

科目名	B7050	デザイン制作演習③	担当教員	土内・佐藤	
履修年次	2年次	総授業時間	165	授業形態	演習
必修区分	選択必修	実務経験のある教員による授業科目		○	
備考					
授業概要	作品制作後にプレゼンテーションを行うことを前提とし、プレゼン用資料の作成や発表における言動等も評価対象とする				
達成目標	人前で発表をすることにより適切な言葉遣いや振る舞いを身につけ、作品をアピールできる力を身につける				
授業計画	1-165. デザイン課題の制作とプレゼン（講評含） ※制作期間は課題ごとに提示する				
授業方法・特徴	与えられたテーマで作品を制作し、その作品をプレゼンテーションして評価しあう				
成績評価基準	A（秀）：80点以上、100点以下 B（優）：60点以上、80点未満 C（良）：40点以上、60点未満 D（可）：21点以上、40点未満 F（不可）：20点以下 ※5段階評価				
成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席率 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 内容理解度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物評価 <input type="checkbox"/> 検定試験結果 上記、該当評価項目（チェック項目）を総合的に判断し、総合得点より評価する。				
教科書・参考書					